

はじめに

文部科学省の科学研究費補助金の助成を受けて、国立大学と地域の交流関係に焦点を当てた研究を開始したのは、平成8年のことである。それから足かけ7年、ようやく最終報告書を刊行する運びとなった。この間、『国立学校財務センター研究報告』として、次の研究成果を発表してきた。

- (1)『国立大学と地域交流』(第2号 平成10年3月刊)
- (2)『大学＝地域交流の現状と課題―教員調査の結果から―』(第3号 平成11年3月刊)
- (3)『新潟県における大学＝地域交流―国立と私立の比較分析―』(第4号 平成12年3月刊)
- (4)『大学と地域社会の交流：その現状と課題(2)―7県有識者調査の結果から―』(第5号 平成13年3月刊)

タイトルからも明らかなように、この一連の研究は、7国立大学の教員及び大学所在県の有識者、それに新潟県所在の私立大学教員を対象にした、実態調査及びアンケート調査の結果の分析を中心にしたものである。しかし同時に、こうした「事例研究」を国立大学全体の問題として位置づけ、分析や解釈を深めるための基礎的な作業として、国立大学の基本的な構造の分析が、平行して進められてきた。その一部はすでに上記の「研究報告」第2号に収められている。

今回の報告書は、そうした2系列の研究の最終的な成果を取りまとめたものである。目次に見るように、それは大きく2つの部分からなっている。

第Ⅰ部には、構造分化という視点から、国立大学群の分析を試みた論文を収めた。第二次大戦後の国立大学政策を、諸審議会の答申等を中心に跡づけた第1章に始まり、明確な政策的意図に基づいて改革や整備がはかられてきた、文理学部・教養部・教員養成学部・医学部という4つの部局の構造変動を対象とする、4つの章が続く。次の3つの章は、国立大学群の全体構造に統計データをもとに分析を加え、類型化の可能性を探った論文からなっている。国立大学については法人化が事実上決まっているが、1世紀余にわたる国費の投入により形成されてきたこの国民的資産とも言うべき国立大学群を、どのように維持し、活性化し、活用していくかは、これまで以上に重要な高等教育政策の課題である。これら基礎的な研究の結果が、そうした課題の遂行に資するものであることを願っている。

第Ⅱ部には、大学と地域交流について、個別的なアプローチを試みた諸論文を収めた。この主題についての総合的な分析は、「研究報告」の第3・4・5号ですでに終えている。この最終報告には、大学と地域交流の問題をまず、自己点検評価・交流の窓口・大学類型・教育機会・教員の属性等と関連づけて検討した5論文、続いて医療・社会科学・教育・工学の4つの専門分野別に考察した4論文、及び大学ごとのケース・スタディ5論文を収めた。これまでの諸研究報告と併せて、国立大学の地域交流実態の立体的な把握が可能になることを、期待している。

6年余の調査研究の過程で、調査の対象となってくださった各大学、大学教員、地域の有識者の方々、それにヒアリングに応じてくださった関係者の方々には、あらためて心より感謝の言葉

を申し述べたい。このわが国で最初の大がかりな、大学・地域交流の実態調査は、それら多くの方々の協力なしには実現しなかった。いただいた協力の大きさに比べて、ささやかな研究成果ではあるが、大学に期待される大きな社会的役割の一つとなった地域交流を、さらに活発化し、実りあるものにする上で、また法人化される国立大学が一つの個性的な大学群として活性化され、さらなる発展を遂げる上で、それが幾分かでも寄与するところがあれば幸いである。

(研究組織)

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 市川昭午 | 国立学校財務センター名誉教授 |
| ○天野郁夫 | 国立学校財務センター研究部教授 |
| 金子元久 | 東京大学教育学部教授 |
| | 東京大学大学総合教育研究センター長 |
| ○小林雅之 | 東京大学大学総合教育研究センター助教授 |
| ○秋永雄一 | 東北大学教育学部助教授 |
| ○佐藤直由 | 東北文化学園大学医療福祉学部教授 |
| | (山形大学人文学部教授 (2000年3月まで)) |
| ○藤村正司 | 新潟大学教育人間科学部教授 |
| ○山崎博敏 | 広島大学教育学部教授 |
| ○村澤昌崇 | 広島国際学院大学現代社会学部講師 |
| ○加野芳正 | 香川大学教育学部教授 |
| 吉本圭一 | 九州大学大学院人間環境学研究科助教授 |
| 新富康央 | 佐賀大学文化教育学部教授 |
| ○吉田 文 | メディア教育開発センター研究開発部助教授 |
| ○橋本鉦市 | 大学評価・学位授与機構審査研究部助教授 |
| 間瀬泰尚 | 東京大学大学総合教育研究センター助手 |
| ○富江英俊 | 東京大学大学院教育学研究科博士課程 |
| ○稲永由紀 | 広島大学大学情報サービス室／高等教育研究開発センター助手 |
| 溝上智恵子 | 図書館情報大学生涯学習教育研究センター助教授 |
| | (長岡科学技術大学助教授 (2000年3月まで)) |
| ○濱中(万見)淳子 | 東京大学大学院教育学研究科博士課程 |
| ○木原 京 | 東北大学大学院教育学研究科博士課程 |
| ○猪股歳之 | 東北大学大学院教育学研究科博士課程 |

(所属はいずれも2002年3月当時、○印は本報告書の執筆者)

研究代表 天野 郁夫